

## 受益者の皆様へ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「グローバル・リート・セレクション」は、このたび、第163期の決算を行いました。

当ファンドは、北米リート・マザーファンド、オーストラリア／アジアリート・マザーファンド、ヨーロッパリート・マザーファンドの各受益証券への投資を通じて、世界各国の不動産投資信託証券に投資し、安定した収益の確保と信託財産の成長を目指して運用を行いました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

### 第163期末(2018年9月18日)

基準価額	4,958円
------	--------

純資産総額	3,779百万円
-------	----------

### 第158期～第163期

騰落率	12.6%
-----	-------

分配金(税引前)合計	60円
------------	-----

(注) 騰落率は分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、岡三アセットマネジメントのホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。
- 運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>  
ホームページのファンド情報から当ファンドのファンド名称を検索することにより、運用報告書(全体版)を閲覧およびダウンロードすることができます。

# グローバル・リート・セレクション

追加型投信／内外／不動産投信

作成対象期間：2018年3月16日～2018年9月18日

## 交付運用報告書

第158期(決算日2018年4月16日) 第161期(決算日2018年7月17日)

第159期(決算日2018年5月15日) 第162期(決算日2018年8月15日)

第160期(決算日2018年6月15日) 第163期(決算日2018年9月18日)

 **岡三アセットマネジメント**

〒104-0031 東京都中央区京橋2-2-1

お問い合わせは弊社クライアント・サービス部へ

フリーダイヤル ☎ 0120-048-214 (営業日の9:00～17:00)

[ホームページ]

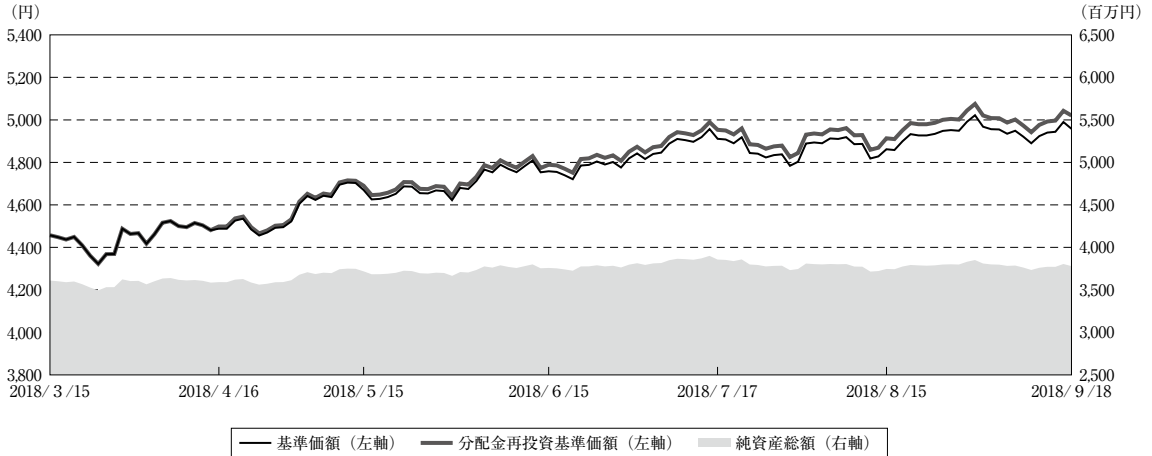
<https://www.okasan-am.jp>

※アクセスにかかる通信料はお客様のご負担となります。

## 運用経過

### 作成期間中の基準価額等の推移

(2018年3月16日～2018年9月18日)



第158期首：4,457円

第163期末：4,958円（既払分配金（税引前）：60円）

騰落率：12.6%（分配金再投資ベース）

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額は、作成期首（2018年3月15日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○**基準価額の主な変動要因**

当ファンドの主要投資対象ファンドにおける主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

**(主なプラス要因)**

○北米リート・マザーファンド

- ・米国のウェルタワーやサイモン・プロパティー・グループなどが上昇したことがプラス寄与となりました。
- ・為替が対米ドルや対カナダドルで円安となったことがプラスに寄与しました。

○オーストラリア／アジアリート・マザーファンド

- ・オーストラリアのデクサスやGPTグループなどが上昇したことがプラス寄与となりました。
- ・為替が対シンガポールドルで円安となったことがプラスに寄与しました。

○ヨーロッパリート・マザーファンド

- ・英国のセグロやユナイト・グループなどが上昇したことがプラス寄与となりました。

**(主なマイナス要因)**

○北米リート・マザーファンド

- ・米国のメイスリッチが下落したことがマイナスに影響しました。

○オーストラリア／アジアリート・マザーファンド

- ・シンガポールのサンテックREITやスターヒル・グローバルREITなどが下落したことがマイナスに影響しました。
- ・為替が対オーストラリアドルで円高となったことがマイナスに影響しました。

○ヨーロッパリート・マザーファンド

- ・フランスのユニベイル・ロダムコ・ウエストフィールドやオランダのユーロコマーシャル・プロパティーズなどが下落したことがマイナスに影響しました。
- ・為替が対ユーロや対イギリスポンドで円高となったことがマイナスに影響しました。

## 1万口当たりの費用明細

(2018年3月16日～2018年9月18日)

項目	第158期～第163期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	円 39	% 0.830	(a) 信託報酬 = 作成期間中の平均基準価額 × 信託報酬率
(投信会社)	(23)	(0.498)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(13)	(0.277)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(3)	(0.055)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	3	0.060	(b) 売買委託手数料 = 作成期間中の売買委託手数料 ÷ 作成期間中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(投資信託証券)	(3)	(0.060)	
(c) 有価証券取引税	0	0.007	(c) 有価証券取引税 = 作成期間中の有価証券取引税 ÷ 作成期間中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(投資信託証券)	(0)	(0.007)	
(d) その他費用	11	0.230	(d) その他費用 = 作成期間中のその他費用 ÷ 作成期間中の平均受益権口数
(保管費用)	(2)	(0.042)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0.007)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(その他)	(9)	(0.181)	その他は、株式公開買付けに応じて得た償還金に係る税金等
合計	53	1.127	
作成期間中の平均基準価額は、4,709円です。			

(注) 作成期間中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

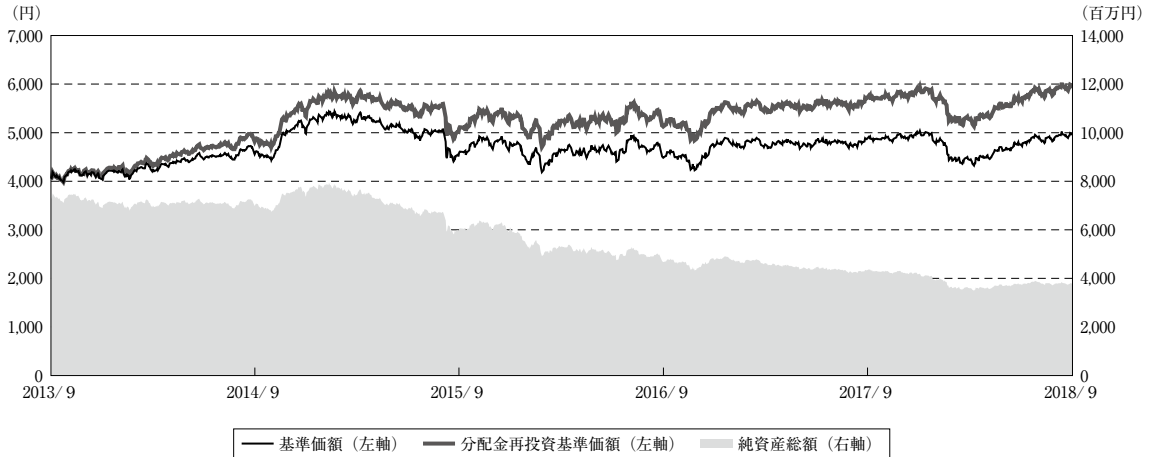
(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## 最近5年間の基準価額等の推移

(2013年9月17日～2018年9月18日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、2013年9月17日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2013年9月17日 期初	2014年9月16日 決算日	2015年9月15日 決算日	2016年9月15日 決算日	2017年9月15日 決算日	2018年9月18日 決算日
基準価額 (円)	4,051	4,555	4,527	4,496	4,868	4,958
期間分配金合計(税引前) (円)	-	240	240	140	120	120
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	-	18.9	4.2	2.4	11.1	4.5
FTSE NAREIT Equity TR Index騰落率 (%)	-	13.9	3.9	20.5	7.2	4.7
S&P/ASX 200 A-REIT Index騰落率 (%)	-	7.7	12.2	12.6	△3.3	10.1
FTSE EPRA/NAREIT Developed Europe Index騰落率 (%)	-	18.2	18.3	△1.2	0.9	5.0
純資産総額 (百万円)	7,280	6,984	5,962	4,690	4,328	3,779

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

(注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。

(注) FTSE NAREIT Equity TR Index、S&P/ASX 200 A-REIT Index、FTSE EPRA/NAREIT Developed Europe Indexは当ファンドの参考指数です。参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する指数として記載しているものです。詳細につきましては、最終ページをご覧ください。

**投資環境**

(2018年3月16日～2018年9月18日)

米国のリート市場は、ホテル系リートが同業のリートに買収提案を行ったことを受けて、リーートの業界再編期待が高まる一方、商品市況の上昇を背景にインフレへの懸念から長期金利が急上昇したことが悪材料となるなど、方向感に欠ける展開となりました。5月以降は、雇用統計などの経済指標が堅調な内容となったことなどから、景気拡大が不動産需要に好影響を与えるとの見方が拡がり、上昇する展開となりました。

オーストラリアのリート市場は、住宅やオフィスビルなどに投資する大手リーートの2018年1－3月期の業況報告で順調な業績推移が確認されたことなどを受けて、投資家心理が改善し、上値を試す展開となりました。また、良好な経済指標を背景に景気拡大がリーートの事業環境に好影響を与えるとの期待が高まったことも好材料となりました。

ヨーロッパのリート市場は、欧州の長期債利回りが低位で推移し、リーートの利回りに対する投資魅力が高まったことなどから作成期初より堅調に推移しました。6月に欧州中央銀行（ECB）が2019年夏までは政策金利を現行の低い水準で据え置くと発表したことや、7月には米国と欧州連合（EU）が貿易摩擦の回避を目指すことで合意したことなどが好材料となりました。8月にかけては、英国がEUから合意せずに離脱するとの懸念が高まったことや、米国とトルコの間で緊張が高まったことなどが警戒され、下落する場面も見られましたが、景気に対する楽観的な見方やリーートの業績が良好であったことなどから、持ち直す展開となりました。しかし作成期末にかけては、イタリアの財政赤字に対する警戒感などから、軟調な展開となりました。

**当ファンドのポートフォリオ**

(2018年3月16日～2018年9月18日)

**<グローバル・リート・セレクション>**

主要投資対象である「北米リート・マザーファンド」、「オーストラリア／アジアリート・マザーファンド」、「ヨーロッパリート・マザーファンド」の各受益証券の組入比率は、合計で概ね90%以上で推移させました。

## ○北米リート・マザーファンド

リートの組入比率は概ね90%以上を維持し、高位を保ちました。

北米の経済動向や個別銘柄のバリュエーションに注目し、資金の流出入に合わせて国別の投資比率や個別銘柄の組入比率を随時変更しました。

米国のHCPやヘルスケア・リアルティ・トラストなどを全て売却した一方、米国のベンタスやリアルティ・インカムなどを新規に買い付けました。

## ○オーストラリア／アジアリート・マザーファンド

リートの組入比率は概ね90%以上を維持し、高位を保ちました。

オセアニア地域、アジア各国の経済動向や個別銘柄のバリュエーションに注目し、国別の投資比率や個別銘柄の組入比率を随時変更しました。

オーストラリアのインベスタ・オフィス・ファンドや日本のインベスコ・オフィス・ジェイリート投資法人などを全て売却した一方、日本のGLP投資法人やシンガポールのメープルツリー・ロジステクス・トラストなどを新規に買い付けました。

## ○ヨーロッパリート・マザーファンド

リートの組入比率は概ね90%以上を維持し、高位を保ちました。

ヨーロッパ各国の経済動向や個別銘柄のバリュエーションに注目し、国別の投資比率や個別銘柄の組入比率を随時変更しました。

フランスのコビジオ（旧フォンシエール・デ・レジオン）を全て売却しました。

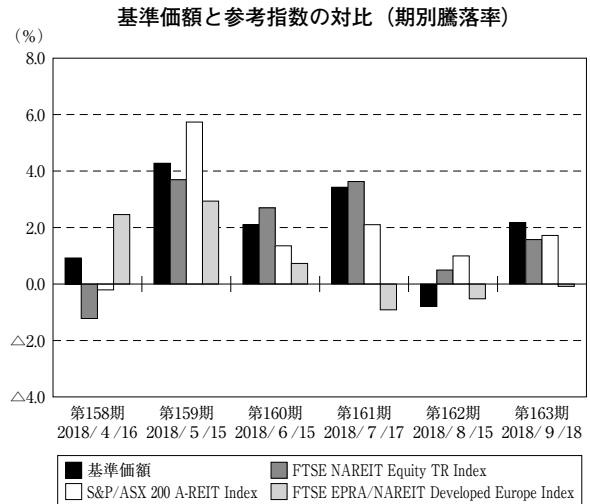
**(為替)**

組入外貨建資産につきましては、当ファンドおよび「北米リート・マザーファンド」、「オーストラリア／アジアリート・マザーファンド」、「ヨーロッパリート・マザーファンド」とも、運用の基本方針に則り為替ヘッジを行いませんでした。

## 当ファンドのベンチマークとの差異

(2018年3月16日～2018年9月18日)

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。右記のグラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



- (注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。  
 (注) 参考指数は、FTSE NAREIT Equity TR Index、S&P/ASX 200 A-REIT Index、FTSE EPRA/NAREIT Developed Europe Indexです。

## 分配金

(2018年3月16日～2018年9月18日)

当作成期間におきましては、主に配当等収益を原資として、第158期から第163期の決算期に、それぞれ1万口当たり10円（税引前）、合計60円（税引前）の分配を行いました。

なお、収益分配に充てなかった留保益につきましては、運用の基本方針と同一の運用を行ってまいります。

(単位：円、1万口当たり・税引前)

項目	第158期	第159期	第160期	第161期	第162期	第163期
	2018年3月16日～ 2018年4月16日	2018年4月17日～ 2018年5月15日	2018年5月16日～ 2018年6月15日	2018年6月16日～ 2018年7月17日	2018年7月18日～ 2018年8月15日	2018年8月16日～ 2018年9月18日
当期分配金 (対基準価額比率)	10 0.222%	10 0.214%	10 0.210%	10 0.203%	10 0.205%	10 0.201%
当期の収益	10	10	10	10	7	10
当期の収益以外	-	-	-	-	2	-
翌期繰越分配対象額	219	227	230	241	238	242

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。



## 今後の運用方針

### (投資環境)

米国のリート市場は、業績上方修正期待や割安なバリュエーションが支援材料となり、底堅い展開になると予想されます。主要リーートの2018年4-6月期決算では、約半数のリートが通期の業績見通しを上方修正するなどリーートの経営者は事業環境を概ね強気に見ています。リートは主に国内に保有する不動産から収益を得る内需型産業であり、貿易摩擦の影響を受けにくいことに加え、大型減税による内需の押し上げにより、旺盛な不動産需要が続いていることが要因と考えられます。良好な事業環境を背景に業績の上方修正基調が継続すると見込まれることが、相場を下支えする要因になると考えられます。バリュエーション面では、リートは株式やリーートの保有資産価値と比較して割安な水準にあることが好材料になると考えられます。

オーストラリアのリート市場は、景気やインフラ投資の拡大を背景に事業環境の改善が見込まれ、底堅い展開になると予想されます。シドニーやメルボルンでは、景気拡大による雇用者数の増加を背景にオフィス需要の増加が見込まれます。一方、シドニーを中心に地下鉄建設に伴うビルの撤去や築年数の古いビルを住宅に用途変更する動きが続き、オフィスの供給量は少ないことから、堅調な需給環境が継続すると考えられます。ブリスベンでは、鉄道建設等の大型インフラ投資が企業景況感の押し上げに繋がり、回復の兆しがでてきたオフィス需要に好影響を与えると予想されます。ファンダメンタルズの改善に伴い不動産市況の上昇が見込まれ、保有物件の賃料上昇によりリーートの業績は堅調に推移すると予想されます。

ヨーロッパのリート市場は、イタリアの財政赤字の拡大などが懸念されるものの、リーートの高い利回りが選好され、底堅く推移する展開になると予想します。またECBの金融政策は緩和的であることや、欧州の経済活動は底堅いことに加え、リーートの相対的に高い配当利回りが下値を支えると思われれます。中でもオフィス系リートは、主要都市の賃料の上昇に伴い堅調に推移すると考えられます。英国においては、インフレ圧力が根強いことや、長期金利が上昇していることなどが警戒され、上値の重い展開になると予想されます。

**(運用方針)****<グローバル・リート・セレクション>**

主要投資対象である「北米リート・マザーファンド」、「オーストラリア／アジアリート・マザーファンド」、「ヨーロッパリート・マザーファンド」の受益証券の組入れを高位に維持して運用する方針です。

なお、今後の各マザーファンドへの投資割合は、以下のとおりにする予定ですが、投資環境の変化に応じて、投資割合を見直してまいります。

北米リート・マザーファンド	67.5%程度
オーストラリア／アジアリート・マザーファンド	17.5%程度
ヨーロッパリート・マザーファンド	15.0%程度

## ○北米リート・マザーファンド

外貨建資産の運用指図に関する権限をリーフ アメリカ エル エル シーに委託しており、北米のリート等の運用は同社が行っています。同社では四半期ごとに戦略投資委員会を開催し、長期的な見通しに基づき北米各国の投資配分及びセクターごとの投資比率を決定します。その上で個別銘柄のファンダメンタルズ分析に基づくボトムアップ・アプローチにより、銘柄の選択を行い、ポートフォリオを構築します。

## ○オーストラリア／アジアリート・マザーファンド

外貨建資産および不動産投資信託証券の運用指図に関する権限をリーフ アメリカ エル エル シーに委託しています。なお、リーフ アメリカ エル エル シーは投資判断に関しドイツ・インベストメンツ・オーストラリア・リミテッドに再委託しています。再委託先運用会社では中長期的な見通しに基づき各市場への投資配分及びセクターごとの投資比率を決定します。その上で個別銘柄のファンダメンタルズ分析に基づくボトムアップ・アプローチにより、銘柄の選択を行い、ポートフォリオを構築します。

## ○ヨーロッパリート・マザーファンド

外貨建資産および不動産投資信託証券の運用指図に関する権限をリーフ アメリカ エル エル シーに委託しています。<sup>(※)</sup>なお、リーフ アメリカ エル エル シーは投資判断に関しドイツ・オルタナティブ・アセット・マネジメント（グローバル）リミテッドに再委託しています。再委託先運用会社では中長期的な見通しに基づき各市場への投資配分及びセクターごとの投資比率を決定します。その上で個別銘柄のファンダメンタルズ分析に基づくボトムアップ・アプローチにより、銘柄の選択を行い、ポートフォリオを構築します。

※ 運用指図に関する権限の委託先がドイツ・オルタナティブ・アセット・マネジメント（イギリス）リミテッドからリーフ アメリカ エル エル シーに変更になりました。

## お知らせ

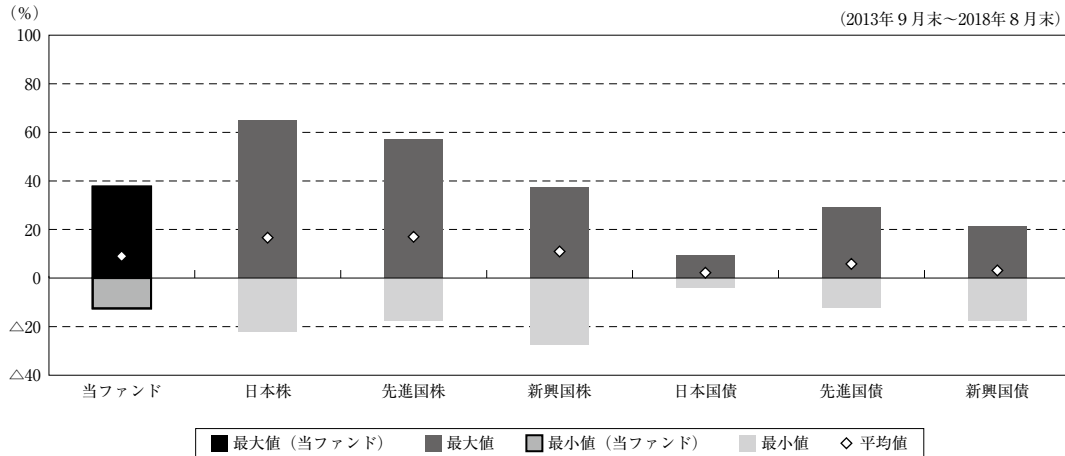
該当事項はございません。

## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／不動産投信	
信託期間	2005年1月27日から原則として無期限です。	
運用方針	北米リート・マザーファンド、オーストラリア／アジアリート・マザーファンド、ヨーロッパリート・マザーファンド（以下、マザーファンドといいます。）の各受益証券への投資を通じて、世界各国の不動産投資信託証券に投資し、安定した収益の確保と信託財産の成長を目指して運用を行います。 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	
主要投資対象	当ファンド	各マザーファンドの各受益証券を主要投資対象とします。
	北米リート・マザーファンド	米国およびカナダの取引所および取引所に準ずる市場で取引されている不動産投資信託証券を主要投資対象とします。
	オーストラリア／アジアリート・マザーファンド	オーストラリア・ニュージーランドおよび日本を含むアジアの取引所および取引所に準ずる市場で取引されている不動産投資信託証券を主要投資対象とします。
運用方法	ヨーロッパリート・マザーファンド	ヨーロッパの取引所および取引所に準ずる市場で取引されている不動産投資信託証券を主要投資対象とします。
	当ファンド	各マザーファンドの受益証券を主要投資対象とするファミリーファンド方式で運用を行います。
	北米リート・マザーファンド	米国およびカナダの取引所および取引所に準ずる市場で取引されている不動産投資信託証券に投資を行い、高水準の配当収入の獲得を目指すとともに中長期的な値上がり益を追求します。 運用にあたっては、リーフ アメリカ エル エル シーに外貨建資産の運用の指図（外国為替予約取引の指図を除きます。）に関する権限を委託します。
	オーストラリア／アジアリート・マザーファンド	オーストラリア・ニュージーランドおよび日本を含むアジアの取引所および取引所に準ずる市場で取引されている不動産投資信託証券に投資を行い、高水準の配当収入の獲得を目指すとともに中長期的な値上がり益を追求します。 運用にあたっては、リーフ アメリカ エル エル シーに不動産投資信託証券および外貨建資産の運用の指図（外国為替予約取引の指図を除きます。）に関する権限を委託します。
分配方針	ヨーロッパリート・マザーファンド	ヨーロッパの取引所および取引所に準ずる市場で取引されている不動産投資信託証券に投資を行い、高水準の配当収入の獲得を目指すとともに中長期的な値上がり益を追求します。 運用にあたっては、リーフ アメリカ エル エル シーに外貨建資産の運用の指図（外国為替予約取引の指図を除きます。）に関する権限を委託します。
	当ファンド	毎月15日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、原則として、以下の方針に基づき、収益分配を行います。 分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の利子・配当等収益及び売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。繰越分を含めた経費控除後の利子・配当等収益には、マザーファンドの利子・配当等収益のうち、信託財産に帰属すべき利子・配当等収益を含むものとします。収益分配は主として配当等収益等から行います。ただし、6月と12月の決算時の分配方針は、それぞれの決算日に売買益（評価益を含みます。）が存在するときは、配当等収益に売買益（評価益を含みます。）等を加えた額を分配対象収益として分配を行います。分配金額は、委託会社が分配可能額、基準価額水準等を勘案して決定します。分配可能額が少額の場合や基準価額水準によっては、収益分配を行わないことがあります。

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位：%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	37.7	65.0	57.1	37.2	9.3	29.1	21.4
最小値	△12.5	△22.0	△17.5	△27.4	△4.0	△12.3	△17.4
平均値	8.9	16.6	16.9	10.9	2.1	5.8	3.1

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2013年9月から2018年8月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株：MSCI-KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債：NOMURA-BPI国債

先進国債：FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド (円ベース)

※各指数についての説明は、最終ページの「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

## 当ファンドのデータ

## 組入資産の内容

(2018年9月18日現在)

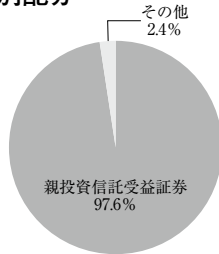
## ○組入上位ファンド

銘柄名	第163期末
	%
北米リート・マザーファンド	65.6
オーストラリア／アジアリート・マザーファンド	17.6
ヨーロッパリート・マザーファンド	14.4
組入銘柄数	3銘柄

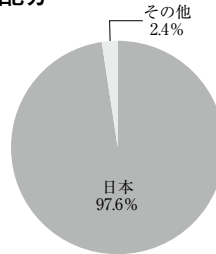
(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

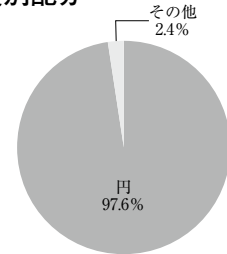
## ○資産別配分



## ○国別配分



## ○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては100%超となる場合があります。

(注) 国別配分につきましては発行国を表示しております。

## 純資産等

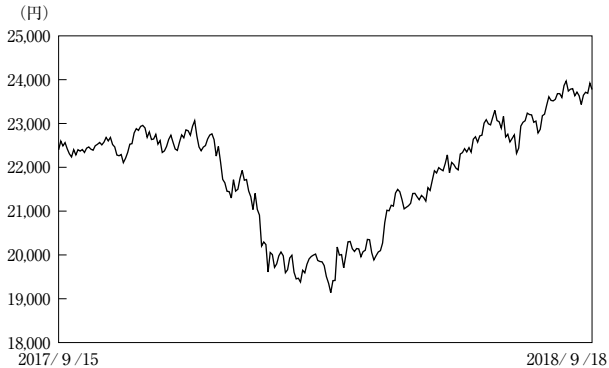
項目	第158期末	第159期末	第160期末	第161期末	第162期末	第163期末
	2018年4月16日	2018年5月15日	2018年6月15日	2018年7月17日	2018年8月15日	2018年9月18日
純資産総額	3,591,033,844円	3,717,991,651円	3,757,985,698円	3,856,782,363円	3,746,021,000円	3,779,283,381円
受益権総口数	8,001,319,435口	7,960,835,825口	7,897,833,569口	7,853,759,715口	7,705,368,722口	7,622,847,554口
1万口当たり基準価額	4,488円	4,670円	4,758円	4,911円	4,862円	4,958円

(注) 当作成期間(第158期～第163期)中における追加設定元本額は14,375,729円、同解約元本額は489,743,463円です。

組入上位ファンドの概要

北米リート・マザーファンド

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2017年9月16日～2018年9月18日)

項目	当期	
	金額	比率
	円	%
(a) 売買委託手数料 (投資信託証券)	52 (52)	0.239 (0.239)
(b) 有価証券取引税 (投資信託証券)	1 (1)	0.004 (0.004)
(c) その他費用 (保管費用) (その他)	77 (20) (56)	0.353 (0.093) (0.259)
合計	130	0.596

期中の平均基準価額は、21,750円です。

(注) 上記項目の概要につきましては、運用報告書(全体版)をご参照ください。  
 (注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。  
 (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

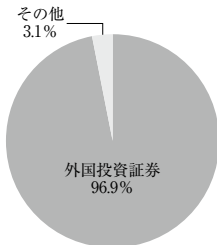
【組入上位10銘柄】

(2018年9月18日現在)

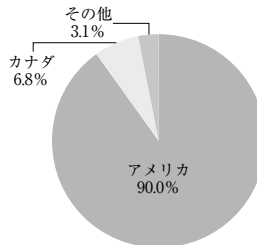
銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
1 WELLTOWER INC	投資証券	米ドル	アメリカ	8.8%
2 SIMON PROPERTY GROUP INC	投資証券	米ドル	アメリカ	8.8%
3 VENTAS INC	投資証券	米ドル	アメリカ	7.3%
4 REALTY INCOME CORP	投資証券	米ドル	アメリカ	6.9%
5 MACERICH CO/THE	投資証券	米ドル	アメリカ	5.7%
6 TAUBMAN CENTERS INC	投資証券	米ドル	アメリカ	4.6%
7 NATIONAL RETAIL PROPERTIES	投資証券	米ドル	アメリカ	4.0%
8 OMEGA HEALTHCARE INVESTORS	投資証券	米ドル	アメリカ	3.7%
9 STORE CAPITAL CORP	投資証券	米ドル	アメリカ	3.6%
10 PHYSICIANS REALTY TRUST	投資証券	米ドル	アメリカ	2.9%
組入銘柄数		41銘柄		

(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。  
 (注) 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。  
 (注) 国(地域)につきましては発行国を表示しております。

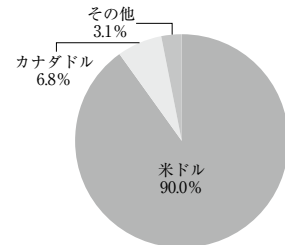
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



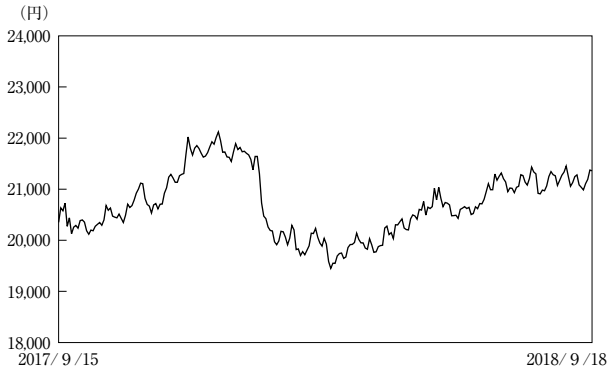
(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては100%超となる場合があります。  
 (注) 国別配分につきましては、発行国を表示しております。

当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は、運用報告書(全体版)をご覧ください。

組入上位ファンドの概要

オーストラリア／アジアリート・マザーファンド

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2017年9月16日～2018年9月18日)

項目	当期	
	金額	比率
	円	%
(a) 売買委託手数料 (投資信託証券)	17 (17)	0.084 (0.084)
(b) 有価証券取引税 (投資信託証券)	3 (3)	0.015 (0.015)
(c) その他費用 (保管費用) (その他)	27 (26) (0)	0.128 (0.127) (0.001)
合計	47	0.227

期中の平均基準価額は、20,686円です。

(注) 上記項目の概要につきましては、運用報告書(全体版)をご参照ください。  
 (注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。  
 (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

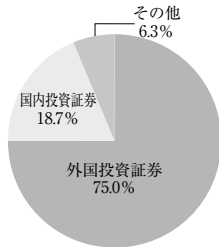
【組入上位10銘柄】

(2018年9月18日現在)

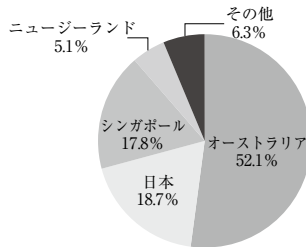
	銘柄名	業種／種別等	通貨	国(地域)	比率
			円	日本	%
1	プレミア投資法人 投資証券	投資証券			8.6
2	DEXUS	投資証券	オーストラリアドル	オーストラリア	7.8
3	GPT GROUP	投資証券	オーストラリアドル	オーストラリア	7.7
4	VICINITY CENTRES	投資証券	オーストラリアドル	オーストラリア	7.7
5	SCENTRE GROUP	投資証券	オーストラリアドル	オーストラリア	7.5
6	MIRVAC GROUP	投資証券	オーストラリアドル	オーストラリア	7.1
7	STOCKLAND	投資証券	オーストラリアドル	オーストラリア	6.3
8	CAPITALAND COMMERCIAL TRUST	投資証券	シンガポールドル	シンガポール	5.7
9	KIWI PROPERTY GROUP LTD	投資証券	ニュージーランドドル	ニュージーランド	5.1
10	STARHILL GLOBAL REIT	投資証券	シンガポールドル	シンガポール	4.8
	組入銘柄数		20銘柄		

(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。  
 (注) 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。  
 (注) 国(地域)につきましては発行国を表示しております。

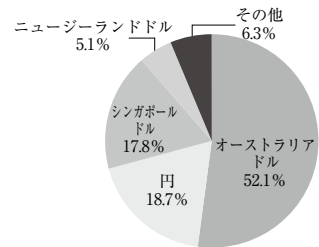
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



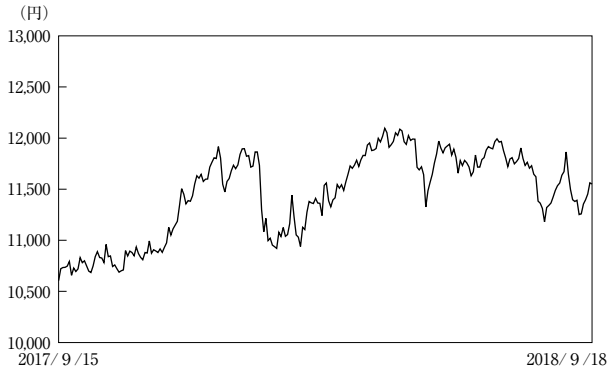
(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては100%超となる場合があります。  
 (注) 国別配分につきましては、発行国を表示しております。

当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は、運用報告書(全体版)をご覧ください。

組入上位ファンドの概要

ヨーロッパリート・マザーファンド

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2017年9月16日～2018年9月18日)

項目	当期	
	金額	比率
	円	%
(a) 売買委託手数料 (投資信託証券)	4 (4)	0.036 (0.036)
(b) 有価証券取引税 (投資信託証券)	16 (16)	0.143 (0.143)
(c) その他費用 (保管費用) (その他)	13 (13) (0)	0.111 (0.110) (0.001)
合計	33	0.290

期中の平均基準価額は、11,438円です。

(注) 上記項目の概要につきましては、運用報告書(全体版)をご参照ください。  
 (注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。  
 (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

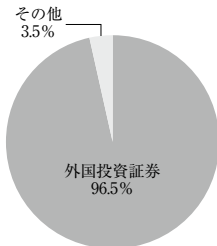
【組入上位10銘柄】

(2018年9月18日現在)

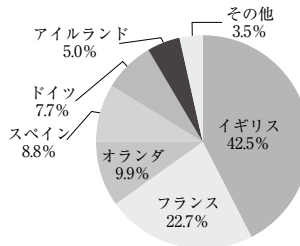
銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
1 GECINA SA	投資証券	ユーロ	フランス	8.9%
2 SEGRO PLC	投資証券	イギリスポンド	イギリス	8.9%
3 UNIBAIL-RODAMCO-WESTFIELD	投資証券	ユーロ	フランス	8.7%
4 BRITISH LAND CO PLC	投資証券	イギリスポンド	イギリス	8.2%
5 LAND SECURITIES GROUP PLC	投資証券	イギリスポンド	イギリス	5.8%
6 MERLIN PROPERTIES SOCIMI SA	投資証券	ユーロ	スペイン	5.4%
7 NSI NV	投資証券	ユーロ	オランダ	5.2%
8 UNITE GROUP PLC	投資証券	イギリスポンド	イギリス	5.2%
9 KLEPIERRE	投資証券	ユーロ	フランス	5.1%
10 ALSTRIA OFFICE REIT-AG	投資証券	ユーロ	ドイツ	5.0%
組入銘柄数		20銘柄		

(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。  
 (注) 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。  
 (注) 国(地域)につきましては発行国を表示しております。

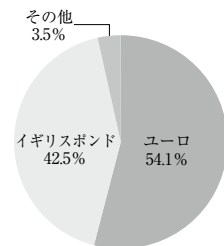
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては100%超となる場合があります。  
 (注) 国別配分につきましては、発行国を表示しております。

当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は、運用報告書(全体版)をご覧ください。



### ＜当ファンドの参考指数について＞

FTSE NAREIT Equity TR Indexは、FTSE Groupが発表する米国リートの代表的な指数です。配当を考慮したトータルリターン・ベースで、1971年12月31日を100として算出しています。

S&P/ASX 200 A-REIT Indexは、オーストラリア証券取引所上場の主要200銘柄で構成されるASX200のうち、不動産関連証券で構成される指数です。

FTSE EPRA/NAREIT Developed Europe Indexは、FTSE Groupが算出する指数で、売買高の大きいヨーロッパの不動産関連証券によって構成されています。

### ＜代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について＞

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

#### ○東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東証株価指数（TOPIX）（配当込み）は、東京証券取引所第一部に上場している国内普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。

#### ○MSCI-KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI-KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

#### ○MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

#### ○NOMURA-BPI国債

NOMURA-BPI国債は、野村証券株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA-BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村証券株式会社に帰属します。

#### ○FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

#### ○JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド（円ベース）

JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド（円ベース）は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。